雪で作るピラミッド

西仙北高で世界大会

雪のピラミッドで春を呼ぼうというスノーピラミッド世界大会が二十三日、西仙北町刈和野の県立西仙北高校グラウンドで開かれた。同町にある秋田カエル村代表佐々木正光さん(三五)のアイデアで開かれ主催は秋田カエル村。

〝ミニ独立国〟も参加

高さ競う個人競技　23人が懸命に挑戦

世界大会と名付けたのは、世界各国からの留学生に参加を呼びかけ、数人の参加申し込みがあったためだが、残念[illegible]期末休みで他へ旅行[illegible]して不参加。と[illegible]である〝ミニ独立国〟の中から二本松市岳温泉のニコニコ共和国、東京八王子市の銀杏国、島根県出雲市のおろち王国、大阪市のそやんか合衆国、それに地元カエル村―の〝五カ国〟の代表も参加して大会を盛り上げた。

スコップで雪を積み上げ高さを競う個人競技で制限時間は百分間。二十三人が参加し、広い雪のグラウンドいっぱいに広がって懸命に雪に挑戦、五人がリタイアし、結局十八基の雪のピラミッドが完成した。ピラミッドの上に選手が立つことが必要で、やっと頂上に立った途端に雪が崩れたり、せっかく積み上げたのに上に立つことが出来ないものもあり、審査の結果、四・三㍍の仙北郡南外村荒又、会社員佐々木達也さん(二一)が優勝、賞金十万円を獲得した。

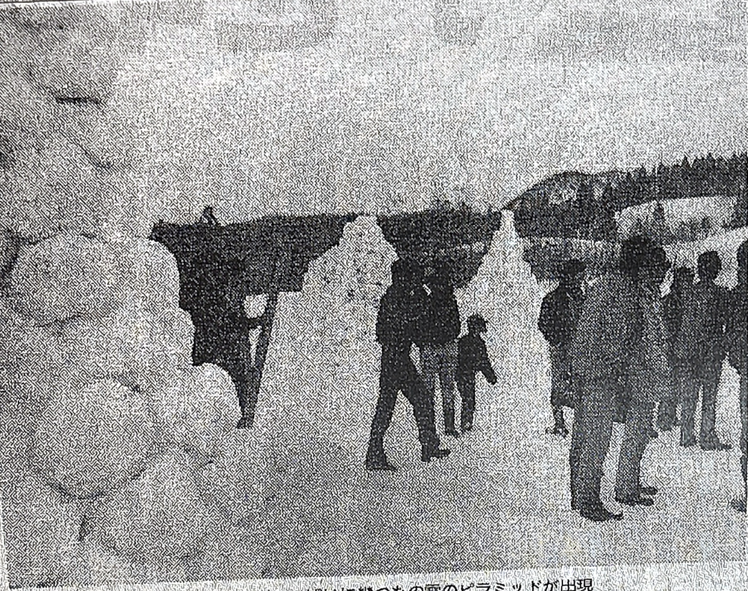
八王子市の銀杏国からは女王の旅行作家杉田房子さん＝〝女王に年齢はない！〟ということで年齢不詳、アダルトに間違いなしという＝と、〝外務卿(きょう)〟の吉岡利江子さん(二三)が参加、「参加したことに意義がある」の言葉通り成績は一・二八㍍。

大阪そやんか合衆国の大統領の北浦浩さん(三三)は「十万円の賞金をわが国の国家予算にと思ったが、地元勢にはかなわん」で、成績は一・六三㍍。出雲市おろち王国の原田和徳さん(三七)は選手宣誓で「十万円をもらいます」と誓ったものの「雪の質も量も違う」。成績は一・八㍍。

二本松市ニコニコ共和国大統領木村四郎さん(五七)は「とてもかなわない」と大会本部のストーブの前にどっかと腰を据え不参加。それでも「見ているのも結構面白い。雪と遊ぶ催しは東北としてももっとあってもよい。いい企画だった」と満足そう。

審査の結果、二位は神岡町神宮寺、左官業岩根堅次郎さん(四〇)の四・二三㍍で、一年分のみそ、三位は地元西仙北町刈和野の会社員菅原耕太さん(二[illegible]㍍で、いぶり漬け[illegible]獲得した。

カエル村の[illegible]代表は、あいさつの中で「来年もさらに趣向を凝らしていきたい」と述べた。また、今年八月には玉川の河原で「じゃりんとピラミッド大会」＝砂利を積み上げる＝、十月には「縄ならではピラミッド大会」＝二十四時間縄をない、その長さを、とぐろに巻いた高さを競う＝を行うことを明らかにした。



グラウンドいっぱいに幾つもの雪のピラミッドが出現

競技結果は地元勢が完勝。中央が優勝した佐々木さん

No.23